

公益財団法人

NO. 70 (2024. 5. 30)

三河郷友会会報

三河郷友会 OB・OG 会

” どうする家康” ならぬ” どうする三河寮” —完結篇—

理事長 中村 民雄

前号 (NO. 69) で記したように、愛知県育英会 (竹早寮) と三河郷友会 (窪町寮) は将来的に合併するという「念書」を交わしました。ところが、その条件である第二期・第三期の建築資金は愛知県育英会側に全額まわり、三河郷友会側には一銭も来なかったのです。そんな継子扱いされながらも自助努力を重ね百人寮を増築し、駐車場を開設して自主財源を確保し大規模修繕を行ってきました。

そうした経緯を知らない愛知県私学振興室からは、合併を約束した「念書」をたてに何度も合併案を提示してきました。その都度小生が出向いて「三河郷友会側には第二期・第三期の建築資金が支払われていない」と、約束が反故にされたことをその都度説明してきました。

そんな折、平成4年 (1992) 8月17日、愛知県私学振興室が仲立ちとなって「在京学生寮運営問題検討会議」が立ち上がりました。特に愛知県育英会 (竹早寮) は建物の老朽化がひどく、壁のひび割れや剥落、窓枠の腐食と屋上からの雨漏り、地盤沈下による建物の亀裂など、改修工事を怠ったツケが一举に出て建替えの必要性が報告されました。これに対して三河郷友会は大規模改修も済み現時点での建替えは必要ないことを伝えました。その後、平成6年 (1994) 4月30日、再度会議が持たれ、「第一期工事 (竹早寮の早期改築)、第二期 (数年後に三河寮の改築) をし、完了後に組織を一本化する。」「この点の保証を愛知県が責任をもって行う。」という合併案を提示してきました。この案こそが昭和30年代に反故にされた「念書」の焼き直しであって三河郷友会側としては受入れがたいのでお断りしました。その結果、最初に建てた50人寮 (窪町寮) は再び三河郷友会に無償譲渡され、両法人は別々の法人として学生寮の運営をしていくことになりました。ここによろしく、” どうする家康” ならぬ” どうする三河寮” のくびきから解放され、自主独立した学生寮の運営ができるようになりました。

もう一点、検討会議が開かれた同年9月27日、刈谷市出身で日本弁護士連合会会長をしておられた水野東太郎氏が昭和37年に自宅の敷地内に設立した「泉育英会」の資産を受け継いでほしいという申し入れがありました。この学生寮は刈谷高校・刈谷北高校の卒業生を中心にのべ二十数名の卒寮生がおり奨学金も出ていたようですが、創設者の水野氏が亡くなられて以降はご遺族と卒寮生で運営されてきました。平成とともに建物の老朽化で維持管理も難しくなり、三河郷友会に資産と「一人の人間の善意がその名の如く、泉の如く溢れ出したことから始まった」育英の精神を受け継いでもらいたいと、四千数百万円のご寄付を頂きました (『ある学生寄宿舎の百年—財団法人三河郷友会学生寮—』256~271頁)。また、長らく途絶えていたOB会を昭和53年 (1978) 8月に復活し、本年までに37回開催しました。さらに、『公益財団法人三河郷友会会報』も同じく69号まで発行することができました。

それもこれも、学生寮は学生主体で、管理運営はOB・OGが中心となり年代を超えて年長者が若者を支える三河郷友会独特の育英組織としたかったからです。一人の力は小さくても何百・何千人、十年・百年と続くことにより着実に根を下ろすことができます。今後ともご支援よろしく申し上げます。

公益財団法人三河郷友会OB・OG会の活動報告

令和5年度事業報告並びに決算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

1. 令和5年4月1日、OB11名・OG10名を新たに卒館生として迎えた。
2. 学生の活動とOB・OGとの交流を図るため、5月に役員と入館生との懇親会を4年ぶりに開催した。また、若手OB・OGと館生とで就活を兼ねた分野別勉強会を行った。
3. 特定費用準備金としての「改築資金積立金」は、三菱UFJ銀行に開設した専用口座に積立てた。
4. 令和5年11月12日、岡崎ニューグランドホテルで第37回OB・OG総会を開催した。OB・OG40名の参加があった。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第68・69号を発行した。

収入の部

	予算額	決算額	差異	備考
普通会費	600,000	630,000	30,000	3,000円×210口
特別会費	300,000	445,000	145,000	5,000円×89口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,860,000	860,000	20,000円×93口
創立百年史売上金	15,000	0	△ 15,000	
雑収入	10,000	43,600	33,600	総会残金
前年度繰越金	1,260,771	1,260,771	0	
計	3,185,771	4,239,371	1,053,600	

支出の部

	予算額	決算額	差異	備考
HP維持運営費	400,000	449,800	49,800	HP維持・管理費、人件費
入館生歓迎会費	100,000	105,700	5,700	入館生歓迎懇親会経費
通信・連絡費	300,000	349,836	49,836	切手・はがき代
印刷費	50,000	29,736	△ 20,264	会報(N066.67)印刷費
事務費	50,000	9,875	△ 40,125	事務用品・諸経費
振込手数料	40,000	32,345	△ 7,655	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	2,500,000	1,500,000	財団積立金として積立
次年度繰越金	1,245,771	762,079	△ 483,692	次年度への繰越金
計	3,185,771	4,239,371	1,053,600	

*改築改修積立金（三菱UFJ銀行へ一括積立）：7,500,000円+2,500,000円（令和6年3月31日）

令和6年度事業計画並びに予算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 令和6年4月1日、OB9名・OG11名を新たに卒館生として迎える。
2. 学生の活動とOB・OGとの交流について新役員と入館生との懇親会を5月に開催し、積極的な財政支援と広報活動を行う。
3. 特定費用準備金としての「改築資金積立金」は、三菱UFJ銀行の専用口座に積立てる。
4. 令和6年11月10日、第38回OB・OG総会を三河郷友会食堂で開催する。
5. 『公益財団法人三河郷友会会報』は、第70・71号を発行する。

収入の部

	前年度	今年度	差異	備考
普通会費	600,000	600,000	0	3,000円×200口
特別会費	300,000	300,000	0	5,000円×60口
男子館改築積立金募金	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50口
創立百年史売上金	15,000	15,000	0	7,500円×2冊
雑収入	10,000	10,000	0	総会の残金等
前年度繰越金	1,260,771	762,079	△ 498,692	
計	3,185,771	2,687,079	△ 498,692	

支出の部

	前年度	今年度	差異	備考
H P維持・運営費	400,000	400,000	0	H P維持管理費、人件費
入館生歓迎会費	100,000	100,000	0	入館生歓迎会費
通信・連絡費	300,000	300,000	0	切手・はがき・発送費
印刷費	50,000	50,000	0	会報(N070・71)印刷費
事務費	50,000	50,000	0	事務用品・諸経費
振込手数料	40,000	40,000	0	振込手数料
改築資金積立金	1,000,000	1,000,000	0	財団積立金として積立
次年度繰越金	1,245,771	747,079	△ 498,692	次年度への繰越金
	3,185,771	2,687,079	△ 498,692	

*改築改修積立金（平成30～令和5年度）：10,000,000円

*改築改修積立金（今年度振込み予定額）：1,000,000円

令和5年度会費納入者一覧（令和5年10月20日～令和6年3月31日）

（金額を入れず、会費の種類・口数のみ書きますのでご了承ください）

富田 君代（特4） 太田 雅人（普特） 大谷 重信（普） 中根 守久（普） 加藤 起己（普）
 青木 一正（普改5） 角岡 康夫（普） 縣 誠司（普） 吉見 伝一（普） 岩崎 仁（普）
 太田 博隆（普） 大島 一夫（普） 浅井 和彦（普） 安川 彰吉（普） 安藤 徹志（普）
 藤澤 孝好（普） 岡田 夏実（普） 稲垣 琢巳（普） 宮路 出（普） 山中 賢一（普）
 成瀬 重行（普） 加藤 盛芳（普） 姫野 健二（普） 米田 吉孝（普） 中根 睦（普）
 増村 清人（普特改1） 稲垣 光治（普） 後藤 俊広（普特） 内空閑英昭（普2特） 夏目 和人（普）
 神谷 基恒（特） 高橋 倫彦（普） 川出伊左男（普） 松澤 崇（特2） 長田 夏実（普）
 天白 正孝（普） 川澄 渚（普） 野田 元陽（普特改1） 佐橋 祐亮（普） 早川 久右衛門（普）
 都築 慎治（普改1） 中西 雅俊（普） 原田 俊彦（普） 永井 寛（特） 磯村 真人（特）
 神谷 寿興（特2） 鳥居 裕貴（普） 古澤 龍平（普） 野村弥寿男（普） 鈴木 義久（普）
 中山 智子（特） 片桐万梨乃（普特） 水野郁枝（普2） 吉田 行徳（普特） 前川 博久（普）
 O B・O G総会残金（43,600円） 鈴木 隆樹（普） 村田 年彦（特） 高木 謙介（普）
 所 佳之（特） 榊原 潤（普） 永田 靖章（特） 片山 到（改5） 鈴木 心乃香（改1）

川崎 隆治 (普改1) 鈴木 哲 (普) 岩月 一詞 (普) 萬崎 具昭 (普) 中瀬 康博 (普)
松田 健 (普) 吉見 卓郎 (普) 森本 和樹 (普特) 山田 喬 (改1) 梁瀬 光章 (特)
柴田 裕 (特) 石田 康雄 (普) 浅井 和彦 (普) 鈴木 充樹 (普) 鈴木 昭雄 (普特)
近藤 昭典 (特) 市川 薫 (普特) 村木 央明 (特) 才木 康裕 (普) 山本 親 (改5)
前田 稔 (普) 前田 文彦 (普) 鈴木タカノリ (普) 尾崎 雅輝 (普) 中根 隆裕 (普改1)
杉浦 隆 (改1) 津ヶ谷勝紀 (普) 原田 敏之 (普) 伊藤 貴紀 (普改1) 片岡 大到 (普)
伊藤 明義 (普特) 木村 勇飛 (普)

*訂正：NO69、磯谷 洋 (×) → 磯貝 洋 (○)

令和6年度会費納入のお願い

三河郷友会OB・OG会会則第3条(本会は、三河郷友会学生会館OB・OG会員相互の交流と友情を深めるとともに、公益財団法人三河郷友会に対する維持運営に財政援助することを目的とする。)にもとづき、令和6年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。また、館生の保護者におかれましては会の趣旨をご理解の上、任意でのご協力をお願いいたします。

なお、郵便振替(00150-8-27434 三河郷友会OB会)で現金払いの場合110円の加算料金がかかりますのでご了解ください。「男子館改築積立金」5口(10万円)以上のご寄付の場合、身分証の提示を求められることがありますので、この点もご了解下さいますようお願いいたします。

普通会費	3,000円
特別会費(1口)	5,000円(何口でも可)
男子館改築積立金(1口)	20,000円(何口でも可)
* (公益財団法人三河郷友会で「改築資金積立金」として積立てます)	
創立百年史(残部僅少)	7,500円

*なお、特別会費等の繰越金についても金額が大きくなった場合、公益財団法人三河郷友会へ寄付し「改築資金積立金」に計上します。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新入館生および館生の保護者各位におかれましては、会費納入用の振り込み用紙が同封されていることに対し、時折「会費納入は義務ですか？」というお電話をいただきます。会費納入は義務でも強制でもありませんが、当・三河郷友会は愛知県三河部出身者の長年にわたる寄付によって成り立ってきました。現在もOB・OGを中心とする自主運営を行っており、駐車場収益と「男子館改築積立金」はそのための資金として積み立てています。このことをご理解いただきたく『会報』をお送りしています。現役世代が高齢者を支える「年金制度」とは逆に、中・高年世代が現役生を支援する三河郷友会のシステムをご理解いただき、ご子息が卒館された折にはその主旨をお伝えいただき二世・三世にわたるサポーターとなっただけいただけますよう何卒よろしく申し上げます。

(理事長 中村民雄)

OB会事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-19-37

公益財団法人三河郷友会

info@mikawagoyukai.net

<http://www.mikawagoyukai.net>

TEL 03-3946-0342 (館長：酒井)